

【ライブ配信】 楽天CFDセミナー

コモディティアナリスト 吉田哲の注目銘柄と今後の展望

2025年5月30日（金） 19:30～20:15

本案内に記載の勉強会では、勉強会でご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

楽天証券経済研究所 コモディティアナリスト

吉田 哲 (よしだ さとる)

1977年生まれ。超就職氷河期の2000年に、新卒で商品先物会社に入社。2007年よりネット専業の商品先物会社でコモディティアナリストとして活動を開始。2014年7月に楽天証券に入社。2015年2月より現職。

「過去の常識にとらわれない解説」をモットーとし、テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどで幅広く情報発信を行っている。2016年7月から2021年3月まで毎週火曜、日経CNBCでコモディティ情報のコーナーを担当。

現在は、ほぼ毎営業日、ウェブサイトみんなかぶ（先物）にコメントを（2025年5月9日時点で1966回目）、毎週火曜日（原則）、楽天証券のオウンドメディア「トウシル」に週刊コモディティレポートおよび動画コンテンツを投稿中。

大学生と高校生の娘とのコミュニケーションの一部を、活動の幅を広げる要素として認識。キャリア形成のための、学びの場の模索も欠かさない。

山形県生まれ、趣味は合唱曲鑑賞。

1. **商品CFD 変動率ランキング**
2. **注目銘柄の振り返りと展望**
3. **質疑応答**

1. **商品CFD 変動率ランキング**
2. 注目銘柄の振り返りと展望
3. 質疑応答

● 商品CFD 変動率ランキング (2025年4月1日と5月22日を比較)

No	銘柄	騰落率
1	ココア	+19.3%
2	プラチナ	+9.6%
3	金	+5.9%
4	(日本225)	+3.9%
5	(米国500)	+3.9%
6	生牛	+2.7%
7	パラジウム	+1.9%
8	大豆	+1.8%
9	小麦	+0.6%
10	コーン	-1.6%

No	銘柄	騰落率
11	銀	-1.9%
12	コットン	-2.4%
13	銅	-7.1%
14	コーヒー	-7.2%
15	天然ガス	-8.2%
16	粗糖	-8.8%
17	ヒーティングオイル	-9.1%
18	ガソリン	-9.5%
19	北海原油	-14.4%
20	WTI原油	-14.4%

出所：マーケットスピードIIのデータより筆者作成

関税ショック後、明暗分かれる。貴金属・穀物上昇、エネルギー下落。

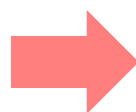
● 関税および関税の税率引き上げの影響について

関税：他国から物品を輸入する者が支払う税金

関税の税率引き上げは・・・

メリット

- ・ 税収増加
- ・ 自国産業の保護・成長
- ・ 貿易赤字縮小
- ・ 違法な物品の流入防止



米国としては
メイクアメリカ
グレート アゲイン
(アメリカを再び偉大に)
実現に近づく

デメリット

- ・ 輸入する者、コスト増
→ 物価高 (インフレ) → 利下げできず

- ・ 「報復関税 (関税の武器利用)」横行
→ グローバル化頓挫・世界分断深化
→ 輸出国で、モノ余り・財政悪化発生
→ 輸入国で、モノ不足・情勢悪化発生

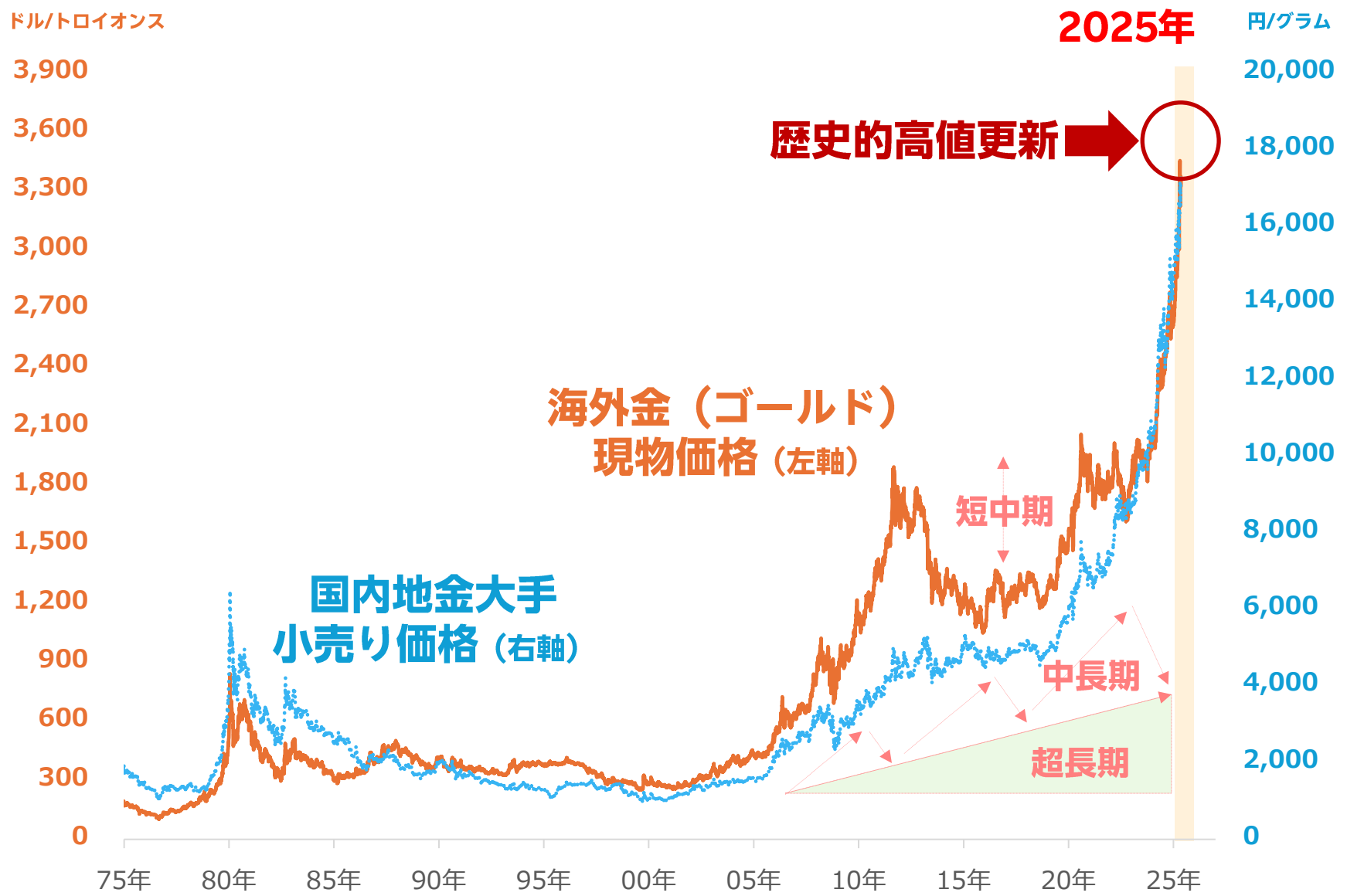
基本的に**悲観論**を生むテーマだが、
交渉進展や米経済回復などが目立てば、
楽観論を生むテーマになり得る。

出所：マーケットスピードIIのデータより筆者作成

今後も、「トランプ関税」が市場を動かし続けるだろう。

1. 商品CFD 変動率ランキング
- 2. 注目銘柄の振り返りと展望**
3. 質疑応答

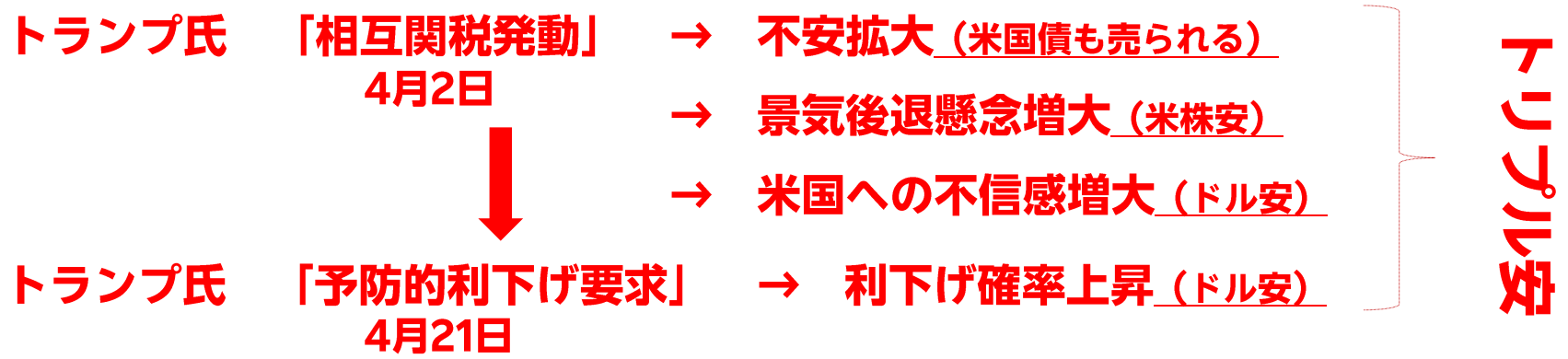
● 海外金（ゴールド）現物価格と国内地金大手小売価格の推移（1975年1月～2025年5月）



出所：LBMAおよび国内地金大手のデータをもとに筆者作成

国内外の金（ゴールド）相場は、高値の記録を塗り替え続けている。

● 金（ゴールド）3500ドル到達の直接的な背景



時間軸	テーマ	材料 (一例)	金相場への圧力
第一の矢 短中期	(1) 有事ムード 不安心理	<ul style="list-style-type: none"> 相互関税への不安 (米国債も売られる) ウクライナ情勢改善観測 	
	(2) 代替資産 株の代わり	<ul style="list-style-type: none"> 株価急反落 株価急反発 	
	(3) 代替通貨 ドルの代わり	<ul style="list-style-type: none"> 米利下げ観測によるドル安 米利下げ後退によるドル高 	

出所：筆者作成

3500ドル到達は、第一の矢の三つの上昇圧力が強まって起きた。

● 金（ゴールド）の国際相場に関わる七つのテーマ（2025年5月時点）

時間軸	テーマ	材料（一例）	金相場への圧力
第一の矢 短中期	(1) 有事ムード 不安心理	<ul style="list-style-type: none"> 相互関税への不安（米国債も売られる） ウクライナ情勢改善観測 	
	(2) 代替資産 株の代わり	<ul style="list-style-type: none"> 株価急反落 株価急反発 	
	(3) 代替通貨 ドルの代わり	<ul style="list-style-type: none"> 米利下げ推進観測によるドル安 米利下げ後退観測によるドル高 	
第二の矢 中長期	(4) 宝飾需要	-	
	(5) 中央銀行	<ul style="list-style-type: none"> 金保有高増加（新興國中銀） 	
	(6) 鉱山会社	-	
第三の矢 超長期	(7) 世界分断	<ul style="list-style-type: none"> 新技術起因の混乱 長期視点の高インフレ ドル覇権の不透明感 	

出所：筆者作成

第二・三の矢が上昇圧力をかけ続ける限り、上昇傾向は続く。

NY原油先物（期近）日足安値 単位：ドル/バレル



出所：Investing.comのデータより筆者作成

60ドルが、下値の目途になりつつある。

原油相場を取り巻く環境（4月2週目以降）

原油相場
への圧力

下落



トランプ氏が
振りまく思惑

- ・米 原油生産増加（掘りまくれ！）
- ・バイオ燃料消費増加策
- ・ウクライナ戦争終了観測 → 供給安定
- ・関税戦争 激化 → 主要国景気鈍化

OPECプラスの
原油生産プラン

自主減産縮小

すべて 同時進行



上昇

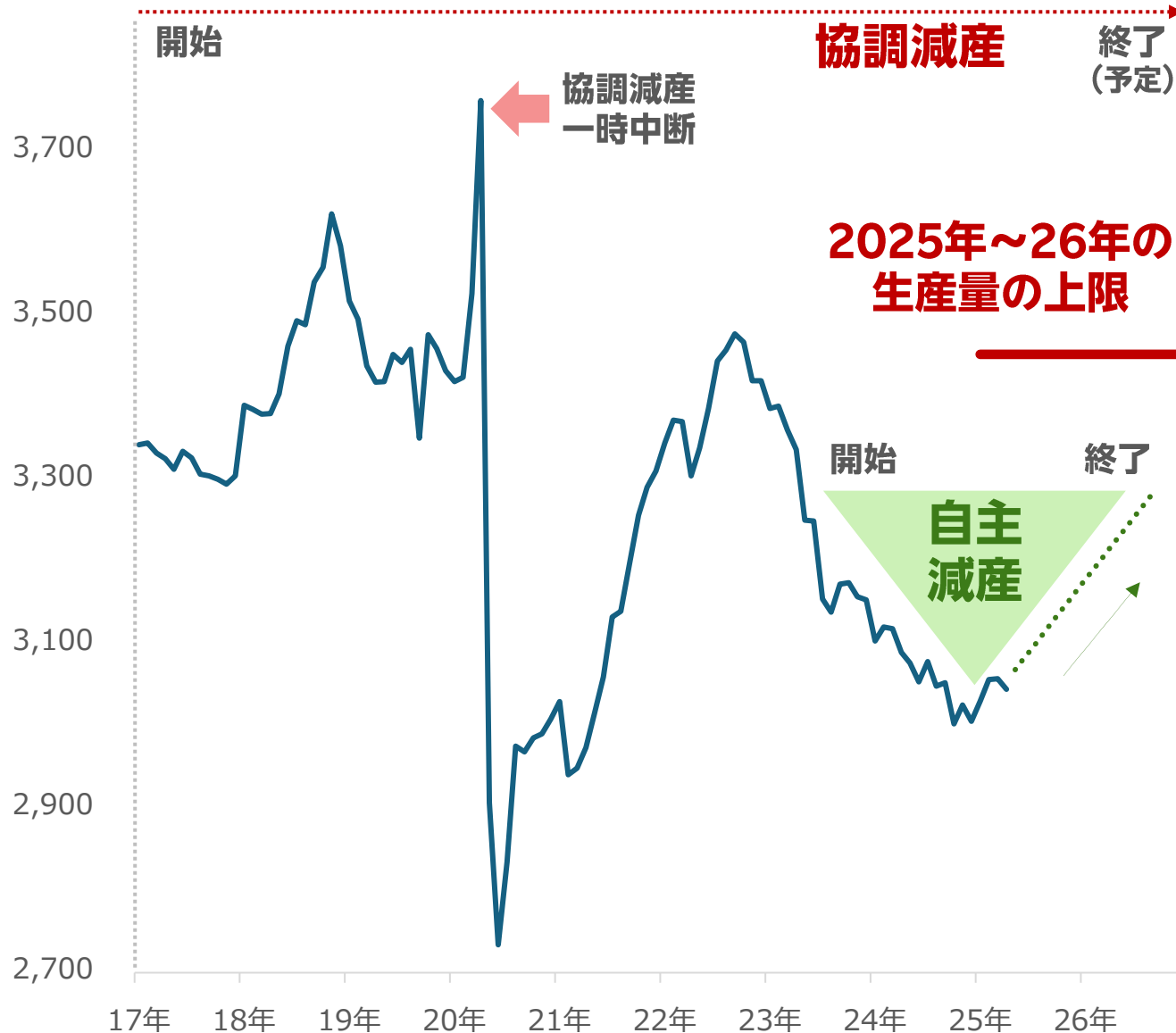
- ・関税戦争 緩和（猶予案件）
- ・米 原油需要増加（米パリ協定再離脱）
- ・米 乏しい戦略備蓄
- ・米 利下げ → 米 景気回復期待
- ・米 利下げ → ドル安 → ドル建て商品高
- ・中東情勢悪化

協調減産継続

出所：筆者作成

4月2週目以降は、上下の圧力が拮抗している。

自主減産実施8か国の原油生産量 単位：万バレル/日量



出所：ライスタッド・エナジー、JODIのデータおよびOPECの資料をもとに筆者作成

協調減産
2026年12月まで継続

需給引き締め策

財政収支を均衡させる
「90ドル」目指す

自主減産
2026年後半で終了

**生産シェア維持・
増産アピール策**

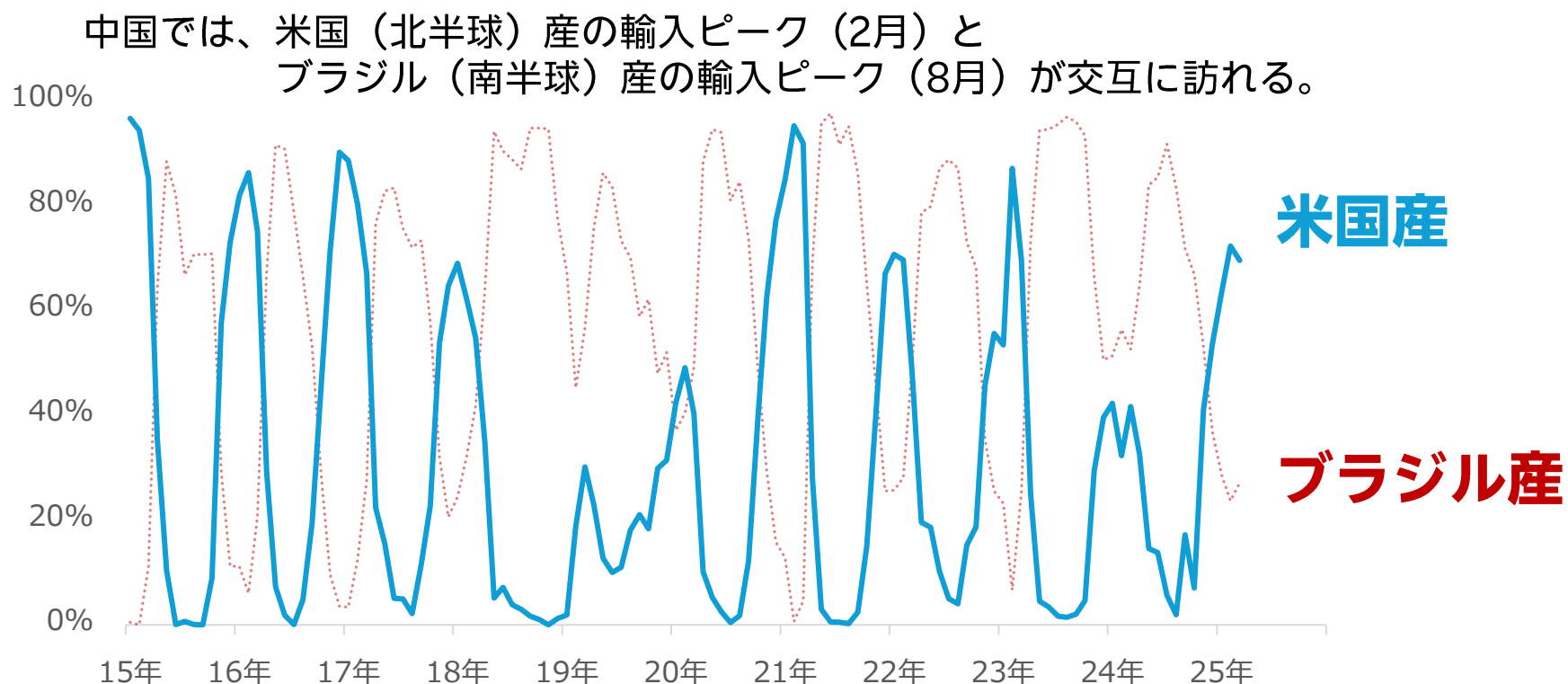
減産疲れのガス抜き
の意味も

協調減産が継続している。OPECプラスからの過剰な供給は起きない。

● 大豆：トランプ2.0始動後のトピック

米国の輸入関税引き上げに対抗し、
中国は、米国産大豆の輸入関税を引き上げた。

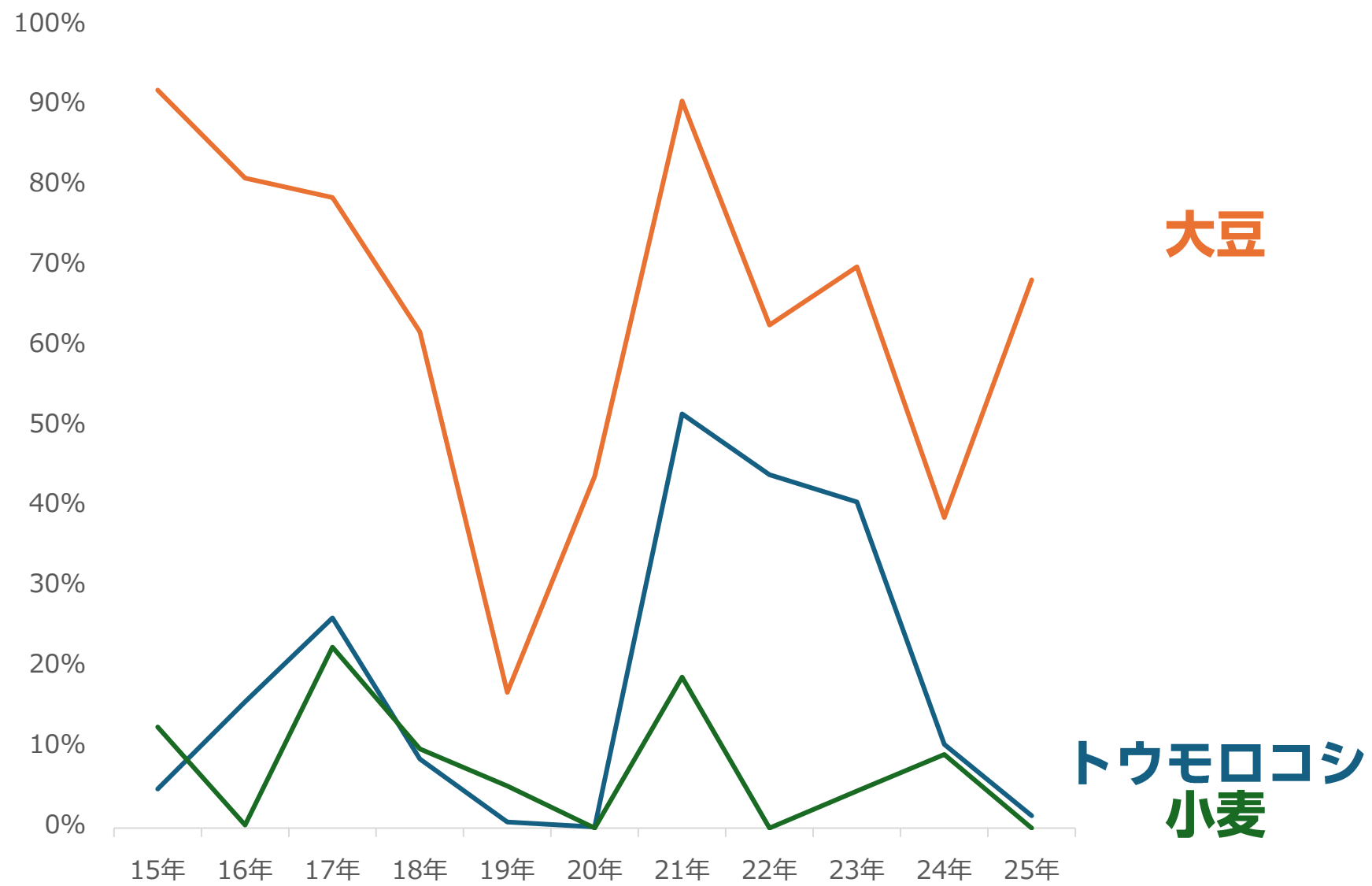
● 中国の大豆輸入元シェア（米国・ブラジル） ※金額（米ドル）ベース



出所：中国の貿易統計より筆者作成

中国は北半球と南半球 交互に輸入元を変えて、安定供給を行っている。

● 中国の米国への穀物輸入依存度（毎年1-3月期） ※金額（米ドル）ベース



出所：中国の貿易統計より筆者作成

米国への依存度は、穀物三種類の中で大豆が最も高い。

● 食品に関わる国際商品の価格を押し上げている材料（2025年5月時点）

時間軸

テーマ

材料

短期

(1) 主要生産国での天候不順

カカオ豆・・・西アフリカ
コーヒー・・・ブラジル、インドネシア
オレンジ・・・ブラジル、米国 など

(2) 投機資金の流入

上昇トレンドに拍車をかける存在
複数の農産物に横断的に流入

(3) 主要国の需給動向

関税問題の影響で、局所的なモノ余り、
モノ不足が発生する懸念浮上

中期

(4) 世界的な人口増加

特に新興国で嗜好品を求める人口が増加
先進国における生活習慣の変化も影響

(5) ESG起因の価格上昇圧力

耕地面積の拡大鈍化（環境配慮）
生産者保護のムード情勢（人権配慮）

(6) 異常気象の頻発

世界各地で異常気象が頻発し、生産減少
懸念が高い状態が続いている

(7) 耕作地を他の用途へ転用

より収益性の高い植物の栽培や、
地中の鉱物資源の採掘を行うケース有

(8) 世界分断起因の出し渋り

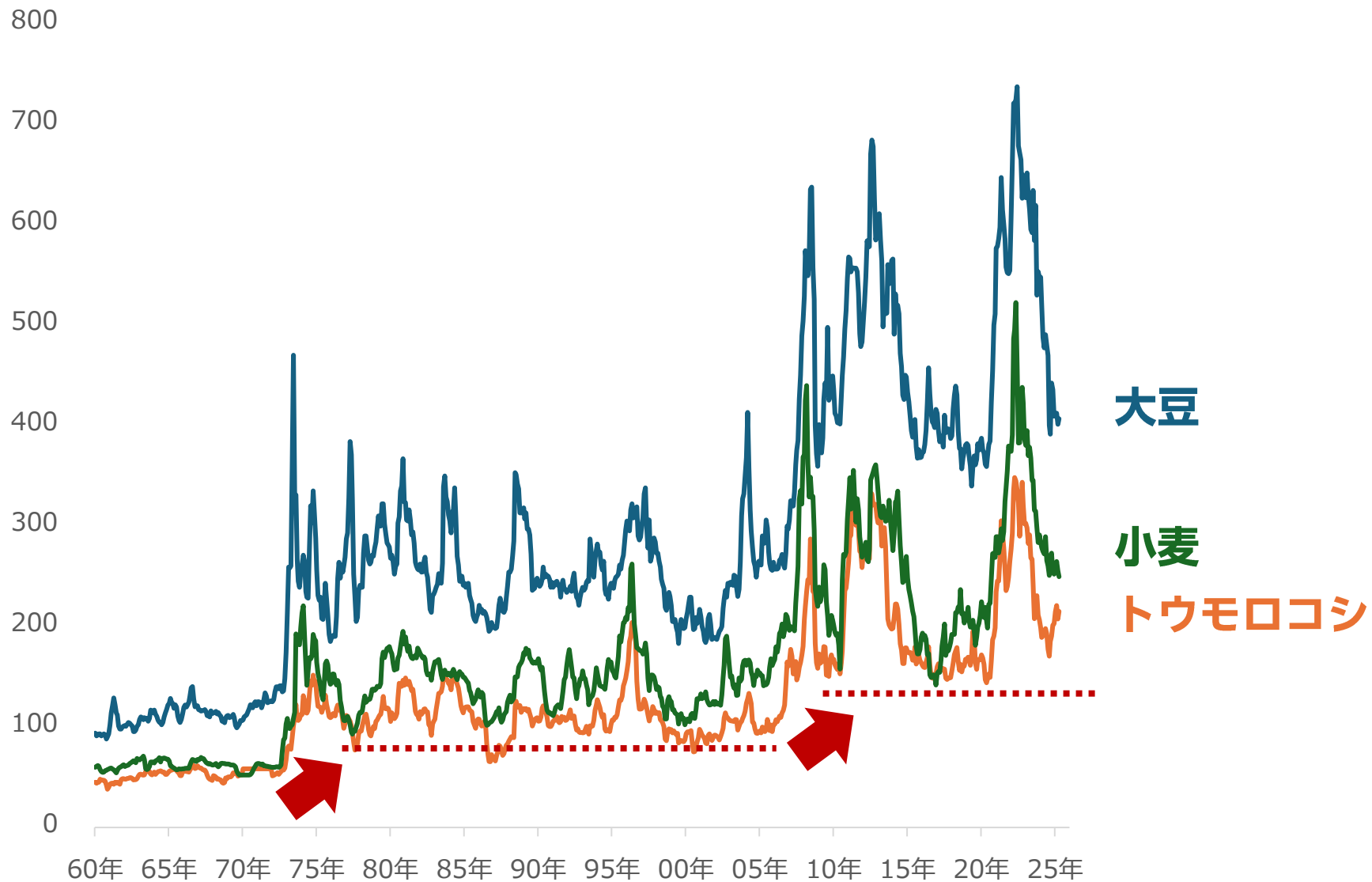
食品における嗜好品の原材料を生産する
国々の民主度は低く、出し渋りリスク有

(9) エネルギー価格の高止まり

生産の現場で、輸送や燃料のコスト、
電気代が上昇している

出所：筆者作成

穀物の国際商品の価格推移



出所：世界銀行のデータをもとに筆者作成

穀物相場では2度 均衡点の大規模な変化（パラダイムシフト）が発生。

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

CFD取引にかかるリスクと費用等について

CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

〔楽天CFD〕

取引金額に対して、指数CFDは10%以上、商品CFDは5%以上、バラエティCFDおよび株式CFDは20%以上の証拠金が必要となります。
(楽天CFDのお取引は現時点では個人口座のみとなります。)

〔楽天MT4CFD〕

個人口座、法人口座ともに取引金額に対して、MT4証券CFDは10%以上、MT4商品CFDは5%以上の証拠金が必要となります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会